

教授 小池 崇文

<http://tk-lab.org>



◆ 研究テーマ

コンピュータによってリアリティを創り、それを実世界で再現・体験することを目指した、未来のメディア技術を研究しています。要素技術の研究だけでなく、プロトタイプを実装することで、実際に体験できる技術の実現を研究室の方針としています。

研究には、コンピュータ・グラフィックス (CG)、映像処理、バーチャル・リアリティ (VR)、拡張現実感 (AR)といった情報技術を駆使します。ソフトウェアだけでなく、リアルな3次元映像表示のための様々なディスプレイや、3次元を撮影するためのカメラの研究もしており、ソフトウェアからハードウェア、コンテンツまで、幅広く取り組んでいます。大きく分けて次の3つになります。

1. リアリティの取得

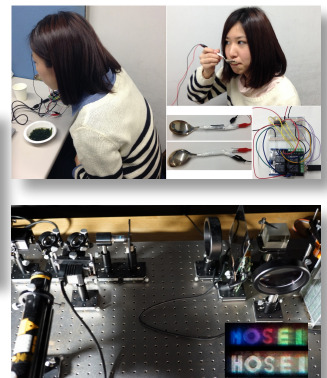
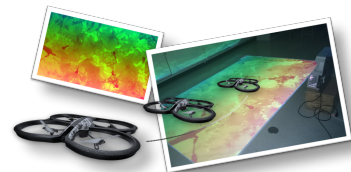
- 最新のカメラやセンサを使って実世界の情報を取得します。

2. リアリティをコンピュータで生成

- CGやシミュレーション技術を使って、リアリティをコンピュータで創りだします。

3. リアリティの再現

- ヘッドマウントディスプレイ (HMD) や3次元ディスプレイ、ドローンを使った空中映像ディスプレイ、電気味覚などで生成したリアリティを実世界に再生します。



◆ 展示内容

オープンキャンパスでは、普及の始まったバーチャル・リアリティの体験を中心に展示をしています。ぜひ、実際に体験して下さい。

- HMDを用いた技術デモンストレーション
- 360度実写全周映像の撮影用ロボット制御技術
- 眼電位測定を用いたインタフェース技術
- 動画による、各種研究やCG研究の紹介

